

原水協活動 FAX News

発行: 原水爆禁止日本協議会

電話 03 5842 6031 FAX 03 5842 6033

URL <http://www10.plala.or.jp/antiatom/> Eメール antiatom55@hotmail.com 2007年11月2日 No.9

非核日本宣言運動
全県で意見書採択

全国どこでもやればできる

秋
田

県原水協事務局長・渡部雅子

県内全 25 市町村で「非核自治体宣言」を国に求める意見書を採択した秋田県のとりにくみについて、経過や教訓を渡部雅子県原水協事務局長から寄せていただきました。

「非核日本宣言」が発表され、日本原水協のとりにくみの方針が提起されたことを受けて秋田県原水協は、平和行進と結合して、自治体首長、議長、地域の有力者から支持・賛同を得る、6月議会に陳情を出し採択を求める、あわせて「国の被爆者援護の抜本的見直しを求める陳情」も出す、平和行進には県原水協から理事長が事務局長が全コースに参加する、などを全県理事会で決めました。

6月議会に向けて、「非核日本宣言、陳情文、意見書例文」を議会事務局宛に送りました。議会開会中の6月の平和行進では、世界大会パンフレットを渡しなが、議会関係者や首長と懇談をしました。北朝鮮の核実験問題やイラク戦争の泥沼化などとあわせて、改憲問題を憂慮している町村関係者が多いことに驚きました。こうした自治体関係者の意向をふまえて「非核日本宣言」の意義について懇談し、被爆国の政府として核廃絶で国際的なイニシアチブを発揮してほしいことなどを訴えました。6月議会では17自治体、9月議会で継続審議となっていた8議会で採択され、県内全自治体で意見書が採択されました。現在、首長、議長からの賛同も寄せられています。

全自治体での意見書採択が実現した背景には、以下のような長年の運動があります。

- 1、アピール署名が78万筆を超え、県民過半数を達成していたこと、その中で住民過半数達成自治体が多数生まれていたこと。
- 2、非核自治体宣言が合併前の全自治体で採択されていたこと。
- 3、平和行進で毎年、首長、議長、担当者と懇談していたことから、核兵器廃絶問題は原水協という信頼関係があること。
- 4、地域の平和を守る運動の一翼を原水協が担ってきたこと。
- 5、平和関連問題で日常的に、すべての地方議員を視野にいれて働きかけ、議会総務委員会、議員学習会等の講師などを原水協が勤めてきたこと。

残された課題として、県議会での意見書採択があります。

新日本婦人の会 「すみやか」 署名50万筆超える

新日本婦人の会（新婦人、高田公子会長）が各地で集めた「すみやかな核兵器の廃絶のために」署名が10月31日、50万412筆と、50万筆を突破しました。署名全体数約174万3千筆の3割にあたります。

戦中・戦後の苦しみを知る会員と若い子育て世代の会員が手をつなぎ、被爆の紙芝居を上演しての原爆の碑めぐり、動物園や植物園などでのランチとセットにした署名行動など、創意・工夫をこらした平和の取り組みを広げてきました。新婦人では、署名運動の飛躍の中で全国大会（11/10～）成功につなげようと奮闘中です。

道内各地の全運輸支部・分会から署名

「原爆症認定制度の抜本改定を求める緊急100万署名」に、北海道内各地の全運輸の北海航空支部の分会から相次いで署名が寄せられています。これまでに、釧路、函館レーダー、丘珠、旭川、釧路レーダー、紋別、帯広、女満別、中標津の各分会から、274名の構成員署名が寄せられています。同時に、「札幌地裁に公正な判決を求める署名」も、373名の署名が寄せられてきています。

北海道原水協は、6・9行動をはじめ、「9条のつどい」などでも署名に取り組んでいます。高教組をはじめ団体の構成員署名の取り組みも広がっています。

神奈川では、11月10日、17日の土曜日を全県いっせい行動デーと位置づけ、桜木町で緊急100万人署名に取り組む予定です。

日本原水協は、署名と併せて被爆者援護連帯2000万円募金のとりくみを成功させるために、「ちひろ美術館」の協力を得て募金をよびかけるシールを製作しました(11月7日完成予定)。絵にこめられた反核平和の想いが伝わってきます。

年末にむけて、さらに年間をつうじて被爆者援護募金のとりくみを強めるために積極的な活用をお願いします。問い合わせは日本原水協まで。



米空母キティホーク入港に抗議

米空母キティホークが26日、室蘭市民の反対を押し切り北海道室蘭港に入港しました。これに抗議し、道労連など道内の民主団体と室蘭の労組・団体でつくる米艦入港反対室蘭実行委員会は27日、現地で全道・室蘭市民集会を開きました。各地から320人が参加しました。

道内で米艦船寄港や訓練移転に反対したたかっている苦小牧、小樽、函館の代表などが連帯あいさつし、集会アピールを参加者一同で決議しました。集会後、「北海道の米軍基地化を許すな」「米軍は帰れ」と唱和し、市内をデモ行進。実行委はキティホークが出港する30日まで、パトロールを実施しました。

国連第1委員会

核関連決議つぎつぎ採択！

第62回国連総会第1委員会は11月1日までに、核兵器関連決議を次々採択しています。

主な採択状況は次のとおりです。

| | 賛成 | 反対 | 棄権 |
|-----------|-----|----|----|
| 新アジェンダ連合案 | 151 | 5 | 13 |
| 非同盟案 | 113 | 45 | 17 |
| マレーシア案 | 121 | 25 | 29 |
| 日本案 | 165 | 3 | 10 |



「すみやか署名」新ポスター
各地で好評
急ぎご注文を！

「すみやか」署名推進のための新ポスターが各地で好評です。7000部製作中、すでに6000部が普及され、残数わずかとなっています。早めにご注文を。